

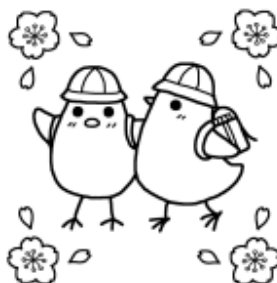


### 大智寺総代役員様の交代

総代役員様方、2011年から三年間の任期、  
本当にありがとうございました。  
新総代役員の皆様、どうぞよろしくお願ひ致します

思い起こせば、2011年度総代役員様方には、着任早々副住職の晋山式という大きな行事が控えており、不慣れな中、大変な思いをされたことと思います。親切丁寧な総代様や、フットワークの軽い世話役様方には3年間寺門興隆に寄与していただき、心よりお礼申し上げます。

これからまた新たな顔ぶれでお寺は動いていきます。新総代役員様、世話役の皆様、どうぞよろしくお願ひします。



### 5月5日(月・祝)お花まつり (降誕会法要：午後2時～3時)

皆様と一緒に、お釈迦様ご誕生をお祝ひします



お釈迦様がお生まれになられた4月8日は、「降誕会(ごうえんえ)」別名お花まつりと言い、宗派を問わず仏教界では法要を営みます。

大智寺では、毎年暖かくなる旧暦に基づき5月5日に、生まれたばかりのお釈迦様の像をお飾りし、皆様に甘茶をかけていただき、お祝ひします。

法要の後には、皆様と一緒に甘茶をいただきます。どうぞ気軽におでかけください。



### 弘法様のお参り ありがとうございました

梅の便りが聞かれるようになった3月8日、里2号の皆様が丁寧に弘法堂のお掃除をし、サンシュなど時期のお花をたくさん飾ってくださいました。お掃除の後には、お経をお唱えし、お参りいただきました。本当にありがとうございました。



### 情報誌『岐阜市咲楽』5月号

特集「お寺で新体験 ～若き副住職に聞く～」

岐阜市限定16万7千部配布をしている月刊岐阜市咲楽に、今回副住職が、大智寺の写経会や坐禅会の紹介をしました。4月5日発行(5月号)、どんな記事になるか楽しみです。



# 大智寺だより

平成26年 卯月  
Vol.50

発行所

## 大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地の水小屋にてご自由にお取りいただけます。又、当寺ホームページにて過去の紙面をご覧いただけます。ご活用ください。

3月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます

～ シリーズ 美濃西国三十三観音霊場 その⑩ ～  
4年に一度の総開帳 平成26年4月6日(日)～4月20日(日)

霊場めぐり ひとくちメモ

この大智寺だよりも、ようやく第50号を迎えました。  
わずか4年程の間ですが、振り返るとお寺の歩みが見えてくるようで、嬉しいものです。  
2011年(平成23年)の3月号を覚えている方は少ないと思いますが、  
当時の大智寺だよりに  
大智寺のお土産におだんごを考えてくださっている方の話題を載せました。

この方は、大智寺のお檀家様ではありませんが、  
15年程前から足しげくお寺へお参りなさるうちに、  
大智寺を好きになり、大切に思ってお参りされるようになった方です。  
今では、大智寺の行事「大坐禅会」にお越しになり、  
皆様にふるまう豆乳がゆに使う「美濃豆乳」を  
寄進してくださっています。



そんな彼が、「大智寺には将来もっと多くのお客様が来る、だから大智寺のお土産を考えよう」と提案してくださった当時は、「ほんとに人が来るのかなあ」と内心思っていました。



あれから3年経ち、  
NPO法人国際循環型社会システム総合研究所が開発した美濃豆乳をベースにした  
かわいい三色の「ひめだんご」を  
地元岐阜女子大学の学生さん方と協同で開発してくださいました。  
学生さん方は教授と一緒に熱心に大智寺へ来てくださり、  
大智寺のイメージをおだんごに込めるとともに、  
原材料もすべて岐阜県産にこだわって作られたそうです。  
添加物は一切使用していない、素朴な味わいのおだんごです。



美濃西国三十三観音霊場総開帳の二週間、  
大智寺にて初めてお目見えます。  
よろしければ、おひとつお土産にいかがですか？

霊場のご紹介

第二十九番札所 : 臨済宗妙心寺派 小山寺(美濃加茂市) ご開帳: 馬頭観世音菩薩  
木曾義仲が祠を建てたことで知られている、飛騨川の中州にまつられた「小山観音」。

第三十番札所 : 浄土真宗本願寺派 善福寺(岐阜市) ご開帳: 十一面観世音菩薩  
天台僧の浄観僧都が十一面観音を安置したお寺。俗に「千手堂」ともいわれている。

第三十一番札所 : 曹洞宗 徳雲寺(美濃加茂市) ご開帳: 子安観世音菩薩  
津保川の支流、蜂屋川の左岸にあるお寺、境内には多くの石仏がまつられています。

第三十二番札所 : 曹洞宗 立蔵寺(関市) ご開帳: 聖観世音菩薩  
関市中心、善光寺公園の入り口にあるお寺。「焼け残りご本尊」をおまつりしています。

第三十三番札所 : 真言宗智山派 新長谷寺(関市) ご開帳: 十一面観世音菩薩  
吉田観音として親しまれるお寺、眺美な檜皮葺きの七堂伽藍は見事で「美濃の法隆寺」とも。

お寺では、これから観音霊場巡りをなさる方に、奉納経(一冊500円)をご用意しております。  
この奉納経は、各お寺のご朱印をいただくための 美濃西国三十三観音専用のもとなります。



～ 観音様の教え 『延命十句観音経』 ～

第十句：念々不離心（ねんねんふりしん）

子どもも唱えられる 一番短いお経から、  
観音様の教えを簡単にご紹介。



とうとう延命十句観音経、最後の一句となりました。  
第十句「念々不離心」・・・一瞬一瞬、心は仏心を離れません

凡人は、自分の調子が良い時は、人にも優しく接することができます。  
けれど、悲しいかな、体調が悪い時、不運に遭った時、失敗した時、人をねたむ時、  
自分の機嫌次第で、心は仏心から遠ざかり、人への接し方も変わってしまうのが、凡人の常です。

一生の間に私達が受ける悲喜交々（ひきこもごも）の訪れは、避けようがありません。  
ただ、自分の心の中に確かにある「仏心」の存在を忘れることなく、  
どんな時も「仏心」に帰る心があれば、迷うことなく、しなやかに生きていくことができます。

「人は独りで生まれ、独りで死ぬ」という方がおられますが、  
観音信仰の唱える「同行二人」とは、観音様と二人で生まれ、生き、死んでゆくことであり、  
家族や隣人から受けた言葉のみならず、鳥のさえずり、山のありさま、空の果てしなさ、  
自分を取りまく全宇宙から聞こえてくる観音様の声を、  
私利私欲のない純粋無垢な「仏心」に帰りなさい、というその声を、  
一瞬一瞬、しっかりと聞き、身をもって応えていく生き方なのです。

今月のひまわり

たんぼぼやオオイヌノフグリが優しく咲き、黄  
や白の蝶々が楽しげに舞う季節となりました。  
うららかな春の池では、鯉がいかにもゆったりと  
泳ぎ、シヨウブやスイレンの緑の中を縫っていき  
ます。変わりやすかった気温もようやく安定して  
きた今日この頃、皆様いかがお過ごしですか。

さて4月は新年度初めの月、新しいことに挑戦  
したくなる月です。大人になった今では、心せわ  
しい日常の中で新しいことに挑戦するといっ  
ても、制限がありますが、やはり未知なることは  
どんな小さなことでもワクワクするものです。  
この春、見よう見まねでハスの種を発芽させる  
ことに挑戦してみました。夏の間お墓の前で花を  
咲かせてくれたハスの種を、失敗覚悟で3月に  
12粒だけ試してみました。小さなコップに1粒ず  
つ入れて、毎日水を換え様子を見ました。嬉しい  
ことに、2粒から芽が5センチほど出てきました。  
他の種は3ミリくらい芽を出していたり、まった  
く何も出てないものもあり、成長の程度はひとつ  
ひとつ違ってきます。

こんな小さなハスの種も、毎日何ミリずつか  
着実に成長していきます。それを毎朝みるのが、  
最近は何より楽しみです。

今年度の初挑戦ですが、  
ハスの花が咲くようになったら  
また皆様にご覧いただければと  
思っています。

わっしょいなるめいやら（笑）



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん 椎茸とおネギの卵とじ

- ① 椎茸とネギを食べたい分だけ切る。
- ② フライパンに油をひいて椎茸とネギとちょっと塩を入れてよく炒める。
- ③ 最後におしょうゆで味をつけて卵とじにして出来上がり。

おネギは油で炒めると甘味がでて、おいしくなるんやよ。もう春になると  
ネギ坊主ができて時期が終わってまうで、たくさん採るんやよ。  
私は、おしょうゆ味で卵とじにするのが好きなんやて。良かったらやってみやー。





## ～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第十五回：直指人心（じきしにんしん）

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



禅宗は、いうまでもなく坐禅をすることで悟りを得ようとする宗派です。

今まで「不立文字」「教外別伝」と見てきたように、文字や言葉などを介して「お勉強」することは、禅の悟りにはつながらないと達磨大師ははっきりと伝えています。

では、どうしたらお釈迦様と同じように仏性（仏心）を悟ることができるのでしょうか。

宗祖臨濟禅師は、師匠の黄檗禅師のもとで3年も修行しながら、なかなか悟りが開けませんでした。

毎日「仏心」を学ぶ糸口をつかめず、もんもんと日々を送っていました。

そしてある日耐え切れず、師匠に問います。

「仏法のぎりぎりのところをひと言で教えてください」

すると師はいきなり臨濟禅師を打ちのめしました。

それでも師を信じ、3度同じ質問をし、3度とも徹底的になぐられたのです。

これによって後に臨濟禅師は大悟し、この時の師の優しい導きに感謝したとのこと。



このように、禅門における師弟の間では、頭で理解できるような、文字言葉によるややこしい説明は一切なく直接「人心」（仏心）を体験させる方法がとられます。これを「直指人心」と達磨大師は伝えています。



## ♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

### 今月の日程

4月27日（日） 一回500円  
（朝8時～9時） （内300円は義援金）  
要申込

### 3月写経会 備忘録

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、青空が広がる暖かい春の朝となりました。写経の最中に、雑誌「岐阜市咲楽」の取材の方がいらっしゃり、撮影をしてくださいました。少し皆様の心を乱してしまったかも心配しましたが、「咲楽」の方は「とっても皆さん精神統一されていて、私の方が緊張してしまいました」とおっしゃっていました。どんなお写真になるか楽しみです。

## 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓  
1区画：38万円～  
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。